

講 義 名		＜実習＞ 一年次 導入実習 車両取り扱い				
概要と目的		エンジンの始動方法を体得 自動車の構造を学ぶ				
担 当 者		霜田 大、宮澤 圭輔	単位数	3 時限	区分	実習
実務経験		カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員が車両取り扱いについて教育を行う科目。				
講義対象		一年生	時 期	4月上旬		
使用教材		実習車両（G／E、D／E、AT車、MT車など多車種）、プリント				
到達目標		自動車の基礎知識、安全意識の徹底、実習ルールを知る				
成績評価		実技試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画						
1 時限		導入 実習の目的、エンジンの始動方法（プリント）				
2 時限		警告灯の見方（プリント）				
3 時限		日常点検、片付け、まとめ				
伝達事項等						
校長	所 属				授業資格	実務経験
	学科長 担当者				学科実習 あり	あり